

事務事業名		スクールバス運行事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業																				
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間																					
	施策名	10 学校教育の充実		区分																					
	基本事業名	04 教育環境の充実		単年度繰返																					
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入																					
所属	部課名	教育委員会事務局学校教育課		【開始年度】																					
	課長名	佐藤 和生		昭和34 年度～																					
	係名	学務係	電話 0192-27-3111	事務事業区分																					
	担当者	佐々木 淳	内線 273																						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																					
<p>市所有の車両を利用する管理運行事業と、事業者所有の貸切バスを利用する運行事業に分けられる。 管理運行事業は、綾里、越喜来、吉浜、日頃市、赤崎地区で13路線、運行事業は赤崎地区の1路線で、全14路線14台に係る維持管理及び運行を行う。 なお、令和2年度中に故障した大型バス2台を廃車し、運行事業に置きかえて実施している。 主な業務は、①運行日程調整、②燃料代・運行管理業務委託料等の支払、③車両の修理・点検(見積・発注・支払)、④特別運行の許可・承認 事業費の内訳は、業務委託契約による運行管理業務委託料、車両検査及び定期点検にかかる手数料、自動車損害保険料、公課費、車両の修繕料、タイヤ購入などの消耗品費などである。</p>				<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
国庫支出金																									
都道府県支出金																									
地方債																									
その他																									
一般財源																									
事業費計(A)	0																								
正規職員従事人数																									
延べ業務時間																									
人件費計(B)	0																								
トータルコスト(A)+(B)	0																								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
<p>前年度実績(前年度に行った主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> 運行手配(日程調整、委託業者との連絡) 特別運行の許可・承認、バス維持管理 <p>今年度計画(今年度に計画している主な活動)</p> <p>前年度と同様</p>	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア スクールバス運行回数(年間)(平均)</td><td>日</td></tr> <tr><td>イ スクールバス乗車定員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ スクールバスの台数</td><td>台</td></tr> </table>	名称	単位	ア スクールバス運行回数(年間)(平均)	日	イ スクールバス乗車定員数	人	ウ スクールバスの台数	台
名称	単位								
ア スクールバス運行回数(年間)(平均)	日								
イ スクールバス乗車定員数	人								
ウ スクールバスの台数	台								
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
三陸地域の遠距離通学児童・生徒及び赤崎地区の遠距離通学児童	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ スクールバス乗車対象の児童生徒数</td><td>人</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ スクールバス乗車対象の児童生徒数	人	キ		ク	
名称	単位								
カ スクールバス乗車対象の児童生徒数	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
遠距離通学児童の安全な通学手段が確保される。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 充足率(定員数/対象児童生徒数)</td><td>%</td></tr> <tr><td>シ スクールバス運行時間等に関するクレーム件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>ス</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	サ 充足率(定員数/対象児童生徒数)	%	シ スクールバス運行時間等に関するクレーム件数	件	ス	
名称	単位								
サ 充足率(定員数/対象児童生徒数)	%								
シ スクールバス運行時間等に関するクレーム件数	件								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
安全・安心で快適な環境で学ぶことができる。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	56,536	65,060	66,508	80,000	80,000	80,000	
	事業費計(A)		千円	56,536	65,060	66,508	80,000	80,000	80,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	300	600	600	600	600	600	
		人件費計(B)	千円	1,200	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	57,736	67,460	68,908	82,400	82,400	82,400
⑤活動指標	ア	日	248	257	250	250	250	250		
	イ	人	411	435	458	435	435	435		
	ウ	台	11	14	14	14	14	14		
⑥対象指標	カ	人	260	356	350	350	350	350		
	キ									
	ク									
⑦成果指標	サ	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	シ	件	2	2	2	0	0	0		
	ス									

事務事業ID	0952	事務事業名	スクールバス運行事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	三陸町地域において、少子化による学校統廃合により昭和34年度からスクールバスを運行している。赤崎地区に関しては、東日本大震災の影響により、赤崎小学校及び赤崎中学校が被災したため、平成23年度より運行を行っている。また現在は遠距離通学児童の通学支援と、主要地方道大船渡綾里三陸線の道路工事により徒歩通学に安全面で不安がある地区の児童の通学支援の点から運行している。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	少子化が一層進行し、児童生徒数が年々減少傾向であるため、乗車人数は減少傾向にあるが、社会科見学などの教育活動に關係する特別運行が増加し、委託者の業務量が増加している。 中学校の統合にかかり、令和2年度から第一中学校通学支援バス(日頃市、越喜来、吉浜)が、令和3年度から東朋中学校通学支援バス(綾里、赤崎)が新たに運行開始された。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市民、児童生徒の保護者から事業継続の要望がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由・内容 スクールバス運行により、通園・通学の交通手段が確保され、教育環境の整備に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由・内容 義務教育における学習機会の確保は、市の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由・内容 スクールバスの一部の路線には他の公共交通機関(バス・鉄道)で代替が可能な部分もある。遠距離通学の児童生徒の交通手段を確保する事業であり、意図は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由・内容 現状で充足率が100%となっているため、これ以上の成果向上は見込めない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由・内容 保護者の経済的負担が増加するとともに、場合によっては徒歩での通学となることで、児童生徒間の時間的格差や通学時の安全が確保されないなどの様々な障害が発生する可能性があり、円滑な学校教育の推進に支障が生じる恐れがある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容 燃料費、修繕料、保険料等の車両の維持管理に不可欠な最小限の経費であり、削減は難しい。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容 契約事務や運行表等の管理があり、人件費の削減は難しい。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由・内容 義務教育の就学環境の最低限の整備であり、受益者負担は考えられない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×	現状どおり継続して事業を実施する。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
	低下	×	×																	
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	本事業については適正に進められており、今後も現状維持で進めていくものとするが、事故のない安全な運行となるよう委託業者との連携を図っていく。